

サステナビリティの取り組み



**KYORITSUグループは
事業活動を通し、持続可能な
社会の実現を目指しています**

CORPORATE LICENSE

ISO27001	ISO（国際標準化機構）が、情報資産を様々な脅威から守りリスクを軽減させるために制定した情報セキュリティに関する規格です。	 共立印刷株式会社
プライバシー マーク	プライバシーマーク制度は、JIS Q 15001のとおり個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者等を認定する制度です。	  共立印刷株式会社
ISO9001	ISO9001は品質マネジメントシステム（QMS）の国際規格で、製品・サービスの品質を継続的に改善する仕組みの実現に必要な事柄を定めた規格となります。	
SIAA	SIAAマークは、抗菌製品技術協議会が制定した抗菌のシンボルマークです。抗菌性、安全性、適切な表示の基準を満たした製品に表示されます。	
ISO14001	ISO（国際標準化機構）が、1992年の地球サミットをきっかけとして1996年に制定した規格です。企業や自治体が、その活動、製品及びサービスによって生じる環境への影響を持続的に改善することを目的としています。	  共立印刷株式会社  株式会社山陰クリエート
FSC®	FSC® は、国際的な森林認証制度を運営する非営利組織です。FSC®森林認証制度は、責任ある管理をされた森林と、限りある森林資源を将来にわたって使い続けられるよう適切に調達された林産物に対する国際森林認証制度です。	  共立印刷株式会社  株式会社 暁印刷
PEFC	PEFC国際森林認証制度とは、第三者認証制度の根幹である次の3つの要素の専門機関が厳正に互いの専門性に干渉することなく独立し透明性を確保して管理・運営される制度です。	 共立印刷株式会社
グリーン プリンティング 認定工場	グリーンプリンティング（GP）認定工場とは、印刷産業界が定めた事業所全体及び工程別の環境配慮基準（グリーン基準）を達成した工場です。	

■ 環境

埼玉県地球温暖化対策計画について (共立印刷本庄工場)

概要

平成22年度（2010年度）より埼玉県で地球温暖化対策計画について、平成21年度（2009年度）のCo2排出量を基準として5ヶ年平均で県の定めたCo2削減率の達成を実現するという条例が制定されました。

今後の展望

第3計画期間年間平均目標 28,700 t
 (参考) 2019年度共立印刷実績 29,266 t

構造改革による台数減を考慮し、
 目標達成可能の見込みです。

本庄第1工場・第2工場・第3工場

計画期間	基準排出量	削減目標	目標排出量 (目標削減量)	共立排出量 (共立削減量)	共立達成 削減率	目標超過 達成分
第1計画期間 平成22年度～平成26年度 (1年あたり平均数値)	179,380t (35,876t)	△7%	166,823t (△12,557t) 33,364t (△2,511t)	163,239t (△16,141t) 32,647t (△3,228t)	△9.0%	3,584.4t
第2計画期間 平成27年度～令和1年度 (1年あたり平均数値)	179,380t (35,876t)	△13%	156,061t (△23,319t) 31,212t (△4,663t)	154,078t (△25,302t) 30,815t (△5,061t)	△14.1%	1,982.6t
第3計画期間 令和2年度～令和6年度 (1年あたり平均数値)	179,380t (35,876t)	△20%	143,504t (△35,876) 28,700t (△7,175t)			

■ 環境

再生可能エネルギー（本庄工場）

太陽光パネル導入について

石油や石炭など化石燃料を中心とした発電によるエネルギー消費によって二酸化炭素が排出され、その結果地球温暖化が進み、環境悪化が深刻になってきています。

これを解決するために、太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギーによる発電が注目されています。

再生可能エネルギーによる環境負荷の低減を通して地域社会への貢献を行う目的で太陽光発電パネルを導入しました。



(株)アドバンテック協力のもと、2022年3月太陽光発電パネルの設置完了
(工場電力使用量の10%弱が再生可能エネルギーに)

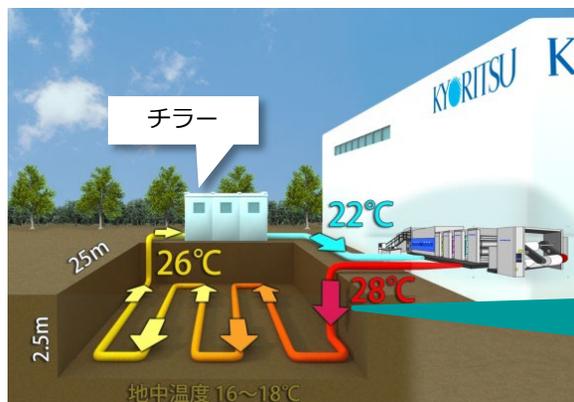
■ 環境

省エネルギー設備の開発 (共立印刷本庄工場)

省エネ設備①

(地熱利用の水冷却装置)

輪転機で、最も電力を使用するのが冷却水発生装置です。高速で稼働する輪転機では、機械の温度を一定に保つため、輪転機内に常に22℃の冷却水を循環させています。22℃の水は輪転機の熱を冷ますと、28℃に熱されて戻ってくるのですが、それを再び22℃に冷やして送り出すには、6℃近く水温を下げる必要があります。私たちは、この電力を抑えようと知恵を絞り、輪転機から戻ってくる28℃の水を、年間を通して16℃程度の低温に保たれる地下にめぐらせた全長120メートルのパイプラインに5分程度通すことにより、2℃下げたから冷却水発生装置(チラー)に戻す設備を開発しました。



地下にめぐらせた120メートルのパイプを通して自然に2℃ほど水の温度を下げます。

2011年6月設置

省エネ設備②

(排熱回収式吸着冷凍機)

輪転機のインキを乾燥させるドライヤー部から出る空気は、250℃にもなります。従来は、熱は、煙突から空気中に放出していましたが、その250℃の熱をエネルギーとして利用できないかと考え、250℃の熱を煙突から回収し、その熱でお湯を沸かし、さらに、そのお湯を利用して、気化と液化を繰り返す熱交換を行い、そのエネルギーで、28℃の水温を20℃近くにする「吸着冷凍機」を開発しました。輪転機の冷却にかかる電熱使用料を抑える循環型システムです。



2013年7月設置



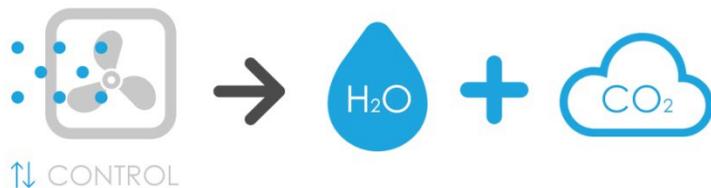
2014年5月設置

■環境

3Rの取り組み Reduce（減らす）、Reuse（再利用）、Recycle（再度資源化）

システム制御による 空気の浄化

メーカーと共同開発した、輪転機ドライヤー脱臭装置の排気ファンリニア制御システムを使用しています。輪転機のドライヤー部ではインキを高速で乾かすため、熱風を当てて瞬時にインキを乾燥させています。乾燥時に発生する排気には気化したインキの溶剤が含まれるため、脱臭装置でクリーンな空気に浄化し排出しています。脱臭装置の仕組みは車のマフラーと同じ仕組みで、触媒を介することによりインキの溶剤を酸化還元し、水とCO₂へと変換します。



排気ファンリニア制御システムでは、触媒の反応温度から、排気中に溶剤がどの程度含まれるかを測定し、測定結果に基づき排気用ファンの排気量をコントロールし、過剰な排気を制御することで排出量を適切に管理しています。これにより、電気・燃料の使用量低減に大きく寄与しています。

廃液・廃油を減らし、 水をクリーンに

油水分離装置を輪転機の廃水処理に使用し、廃水にまじるインキの油分を分離し、油のみを外側のタンクに保管しています。油水分離装置の設置前は、水と油をそのまま回収用タンクに溜めており月に2回、年に24回の廃水回収が必要でしたが、この装置の開発により、現在は年に1回まで廃水回収回数が減少しました。環境へのやさしさだけでなくコストメリットにも繋がっています。



油水分離装置



回収用タンク



LED照明への切り替え

当社は、すべての照明をLED照明に切り替える取り組みを実施し、全工場で作業所内のLED化が完了しました。



ハイブリッド車の採用

当社は、エコドライブを推進するとともに、ハイブリッド車への切り替えを実施しています。

■ 環境

3Rの取り組み Reduce（減らす）、Reuse（再利用）、Recycle（再度資源化）

ゴミから資源へ

3Rの基本的取り組みで、資材の過剰包装や使い捨て容器を廃止し、入替え式を選択するなど廃棄の元となるものの削減に取り組んでいます。さらに、工場で発生するもの全ては、再利用するものとししないものに分け、再利用しないものも、資源として売却できるものと廃棄物を徹底的に分別しています。

こうした取り組みの結果、廃棄物は大幅に減り、資源は最大限有効活用しています。廃棄物として引き取られていた発生物は、およそ3割まで最少化することができました。



廃棄物保管所



徹底的に分別し、有価物7割、廃棄物3割となります。

機械の性能維持

当社は、機械の性能を維持する「原点復帰」「予防保全」「定期メンテナンス」等、日々の取り組みを継続し、機械のコンディションを保つことにより、電気エネルギー使用量を低減しています。



刷版工程の無処理化

刷版工程において無処理版の導入を進めています。

無処理版とは、現像機処理を行わずに印刷機上で現像を行う刷版で、現像機を使わないことから、機械のメンテナンスや薬剤が不要になり、廃液が削減でき環境負荷を低減します。

現在は、UV枚葉印刷機、B縦全判輪転機で無処理版を採用していますが、全機種におけるの運用をめざしています。



商業オフ輪用ローラ再生装置（ARS）の採用



ローラ再生装置

2021年2月よりオフセット輪転機用のローラ再生装置を採用しています。

従来は、輪転機のローラーのゴム部分は劣化すると廃棄し、新品のゴムへの取り替えを行っていましたが、再生装置を使用することで、廃棄物を減らし、コスト削減にも寄与しています。

また、1本あたりの再生処理時間は30分ほどとなり、作業効率の向上にもつながっています。

■環境

生分解性プラスチック製造への取り組み

株式会社今野 (2021年7月 完全子会社化)

本社/埼玉県新座市 創業/1967年



生分解性プラスチックにより、様々な環境問題を改善することができます。

プラスチック削減	水と二酸化炭素に完全分解することにより、廃棄物の削減になります。
廃棄物の再資源化	生ゴミと一緒に生分解して堆肥などの資源にすることができます。
海洋プラスチック問題	海洋プラスチックごみによる海洋環境への影響を低減します。

生分解性プラスチックとは・・・



高分子のプラスチックが加水分解や酸化型分解により低分子となり、バクテリアなどの微生物が食べて分解し、最終的には水と二酸化炭素になります。



製造直後

数年経過後

■ 環境

リサイクルプラスチックを通じた資源循環型社会への取り組み

株式会社山陰クリエート (2023年3月 完全子会社化)

本社/鳥取県米子市 設立/1983年



豊かな自然を次世代につなげる環境づくりに努めています。

プラスチック類再生事業 (マテリアルリサイクル)	水と循環型社会形成に貢献するため開発した新素材を製造しています。従来の鉄、非鉄、木製品の代替素材として幅広い用途の普及を目指しています。
RPF燃料製造事業 (サーマルリサイクル)	化石燃料の代替えとして再利用できるRPF燃料を製造しています。
一般・産業廃棄物処理事業	収集された廃棄物は、リサイクルできるもの、燃料として利用するものを分別し、安全化・減量化した後、最終処分場へ運びます。

マテリアルリサイクル リサイクルで廃棄物が新素材へ



サーマルリサイクル 廃棄物から環境保全型エネルギーへ



■ 労働

ダイバーシティの考え方

(多様性を受け入れ共に考え成長する)

共立印刷は、地域、性別、年齢、学歴、宗教、価値観の多様性を受け入れ広く有能な人材を発掘し、その一人ひとりの能力やアイデアを尊重する企業をめざし、女性や地方出身者も長く、安心して活躍できる環境を整えてまいりました。

さらに2019年より、外国人技能実習生の受け入れを開始しています。帰国後に母国の印刷産業を牽引する人材を育成し、将来的なアジアの印刷産業発展への貢献をめざします。

女性の活躍について

共立印刷では、現在、営業や制作・管理部門だけでなく、工場においても多くの女性が働いています。

平等な評価で女性管理職・女性リーダーの登用を行い、ビジネスにおける女性のキャリア形成を目的とした研修・手当てを実施するなど、女性の活躍を推進しています。

また、工場では独自に生産ラインのオートメーション化を進めたことにより、2007年より印刷業界では珍しかった女性オペレーターを採用し、その中から女性機長も複数名生まれました。

女性の活躍に関する情報公表について

項目	年度	正社員	準社員	全労働者
●採用した労働者に占める女性労働者の割合	2023年度	35.7%	33.3%	35.3%
	2022年度	21.4%	0.0%	10.3%
	2021年度	50.0%	42.9%	47.8%
●男女の賃金の差(注)	2023年度	85.4%	85.3%	80.2%
●労働者の一月当たりの平均残業時間	2023年度	20.4時間/1ヶ月		

(注) 対象期間：2023年1月～2023年12月 / 正社員：社外への出向者除く
準社員：契約社員、パートが該当 / 賃金：通勤手当を除く

■ 労働

ジェンダーの考え方

共立印刷は、性の分け隔てなく優秀な人材を採用し従業員が個性を生かし活躍できる場を提供し、公平に評価を行います。

労働者の雇用の安定及び職業生活の充実について

共立印刷では、年齢にかかわらず必要な人材の確保を行っており、新卒採用だけでなく、中途採用も適宜実施しています。中途採用者については、職務遂行能力を考慮し柔軟な処遇対応を行っております。

過去3年度における正規雇用労働者の中途採用比率

	2021年度 (2021年4月1日～2022年3月31日)	2022年度 (2022年4月1日～2023年3月31日)	2023年度 (2023年4月1日～2024年3月31日)
正規雇用労働者の 中途採用比率	37.5%	14.3%	21.4%

(労働施策総合推進法に基づく中途採用比率の公表)

外国人技能実習生の受け入れについて

共立印刷では、2019年より外国人技能実習生の受け入れを行っています。一定期間、日本での生活、共立印刷での業務を通じて、技能や知識を学んでもらい、本国の発展に活かしてもらうことが目的です。

技能実習生には、タブレットを利用し、動画による作業手順の説明など、わかりやすく丁寧に指導しています。



■ 労働

働きやすい環境整備と教育・人材育成プログラム

社員寮 (共立印刷)

共立印刷は、従業員が長く安心して働くことのできる印刷会社をめざしており、工場勤務の社員には8棟の社員寮を整備しています。



育児・介護制度

仕事と育児・介護両立のために、小学校在学中の子を養育する期間は申請者の所定外労働を制限・免除し、勤務時間を短縮するなど、1人1人の希望と状況に応じて仕事を継続しやすい環境の整備に努めています。



新入社員研修

新卒社員向けに、入社時にビジネスマナーから、会社全般の教育プログラム、印刷・製本など製造に関する実習など充実した入社研修を設けています。



資格取得支援

DMマーケティングエキスパートやDMアドバイザー、個人情報保護士など業務に関わるプロフェッショナルな資格取得支援を行っています。



サステナビリティ基本方針

KYORITSUグループは、経営理念のもと、自らの持続的な成長とともに、持続可能な社会の実現に貢献するために、以下の基本的な取り組み方針を定め、企業価値の向上を目指します。

1.環境問題への取り組み

資源の使用量の低減、法令の遵守と地域の調和、環境保全意識の教育という3つの環境方針のもと、事業活動において、CO2の排出量削減、3Rの取り組みなど、環境の保護に取り組むとともに、環境に配慮した製品の提供など、環境負荷の少ない次世代型産業への挑戦をつづけ、持続可能な社会の実現に貢献します。

2.人権の尊重と人材育成

性別や国籍に関係なく、全ての人権を尊重するとともに、多様性を受け入れ、従業員一人ひとりの能力やアイデアを尊重し、長く、安心して活躍できる環境を整え、従業員自らが専門性を高め活躍の場を広げるための多角的な教育プログラムを設け、リーダーや技術者の育成、キャリア形成のサポートを推進します。

3.地域社会への貢献とステークホルダーとの関係強化

コミュニケーションを大切にし、お客様、取引先、株主、投資家、従業員、地域社会などすべてのステークホルダーと良好な関係を構築し、事業を通じて地域社会の活性化と発展につながる活動を推進します。

4.社会からの信頼の確立

法令や規則を遵守し、高品質な製品提供の為に品質管理の徹底、企業情報の適切な開示など、誠実で公正な企業活動を遂行することにより、社会からの高い信頼の確立を図ります。